

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人	319,788 人	377,732 人		450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人	341,146 人	385,753 人		480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-1 学校教育の充実								
(1)【教育内容の充実】 ○学校と地域が連携し、ふるさとへの愛着心を高める体験活動に取り組みます。 ○子どもたちの学校の居場所づくりや分かりやすい授業に努め、魅力ある学校づくりを推進します。 ○ICTを活用し、現代社会に必要なとされる情報活用能力を育成します。 (2)【個に応じた学習支援の充実】 ○習熟に応じて、少人数で指導することにより、学力向上に取り組みます。 ○気がかりな児童・生徒に対応した学級運営に取り組みます。 ○特別に支援が必要な児童・生徒の発達段階に応じ、適切に取り組みます。 (3)【就学指導体制・教育相談体制の充実】 ○いじめや不登校の兆しを早期に発見し、関係機関と連携して児童・生徒の支援に取り組みます。 ○就学による学校生活が円滑に移行できるよう、保育園等と小・中学校の連携を図ります。 ○教職員の業務負担を軽減するため適正な人員を配置し、授業の準備や研究のための時間を確保するとともに、教員の資質向上に取り組みます。 (4)【安全な教育環境の整備】 ○児童・生徒が安全に安心して学ぶことができる教育環境を整備します。 ○障がいをもつ児童・生徒に配慮した学習環境の確保を図ります。 ○省エネ機器の採用や自然環境に配慮した施設整備を推進します。 (5)【安全で安心な学校給食の充実】 ○安全で安心な学校給食の提供に取り組みます。 ○学校給食を通じて、地産地消、食の大切さや食文化などの食育に取り組みます。								
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	達成見込
大規模改造工事実施小学校数	毎年2校 (平成30年度)	2校	2校	3校	3校		毎年2校 (令和6年度)	目標値を達成見込み
意識調査で「学校は楽しい」にあてはまると回答する児童生徒の割合	66.0% (令和2年度)	66.0%	64.1%	63.2%	61.3%		70.0% (令和6年度末)	目標値に達しない見込み
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに							

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1)-1	教育委員会運営事業	生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するため、教育委員会および総合教育会議を開催します。	教育総務課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	月1回の定例会および臨時会合わせて教育委員会を14回、また、総合教育会議を1回開催し、教育行政について協議を行いました。		2,734	2,671	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1)-2	教育委員会事務局事業	教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図ります。	教育総務課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会や小学校創立30周年・150周年の記念誌発行などへの支援を行い教育振興に取り組みました。		19,246	14,007	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1)-3	キャリア教育支援事業	職場体験や外部講師を招いての講演会を実施するなど、生徒が主体的に進路を選択できる能力や職業観を身に付けられるように取り組みます。	学校教育課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	外部講師を招いての授業や職場見学・体験、探求学習等を実施するなど、各中学校で創意工夫しながら、生徒自身が坂井市の魅力や特色、自身の将来について考える活動を実施しました。なお、予定していた外部講師の講演会等は、次年度に延期しました。		270	45	拡充

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
(1) -4	ふるさと坂井体験学習事業（小学校教育振興事業）	児童が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、郷土に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成します。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	各学校の創意工夫により、地域活動や農業体験などさまざまな活動に取り組みました。また、4校が県の「ふるさとの魅力発信推進事業」に取り組み、活動内容の発表の動画作成を行いました。		4,200	4,200
(1) -5	ふるさと坂井体験学習事業（中学校教育振興事業）	生徒が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、郷土に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成します。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	各学校の創意工夫により、地域活動や農業体験などさまざまな活動に取り組みました。また、4校が県の「ふるさとの魅力発信推進事業」に取り組み、活動内容の発表の動画作成を行いました。		1,100	1,100
(1) -6	ふれあい交流事業	様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを持てるよう、子どもたち同士の交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進します。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	市内全小学校が参加して実施する連合運動会や音楽会、スムーズな中学校生活を行うために実施する6年生が中学校を訪問する小中連携事業を行いました。		4,313	3,592
(1) -7	小学校教育振興事業	ICTを活用した学習活動を行い、子どもたちの学びが充実するよう取り組みます。また、プログラミング教育への対応を図っていくとともに、児童の英語を活用したコミュニケーション能力の向上のために、外国語教育の充実を図ります。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	一人一台配布されたタブレット端末を利用して、デジタルドリル、授業支援ソフト、AIロボットや新聞デジタル教材を活用した個別最適化された学びに対応しました。また、通信環境が整備されていない家庭に対してWi-Fiルーターの貸与を行い、タブレット端末の持ち帰り学習を進めました。		62,038	60,484
(1) -8	中学校教育振興事業	ICTを活用した学校教育活動を行い、子どもたちの学びが充実するよう取り組みます。また、課題を解決するための思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む姿勢を養い、個性を活かした教育の充実を図ります。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	一人一台配布されたタブレット端末を利用して、デジタルドリル、授業支援ソフト、AIロボットや新聞デジタル教材を活用した個別最適化された学びに対応しました。また、通信環境が整備されていない家庭に対してWi-Fiルーターの貸与を行い、タブレット端末の持ち帰り学習を進めました。		33,899	33,583
(2) -1	学級運営支援事業	気がかりな児童生徒の学習支援を行うために学級サポーターを配置し、スムーズな学級運営を図る。また、学校生活に支障がある児童生徒の生活支援も行います。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化が図られました。英語の教科指導員や特別支援教育の指導員を配置して、きめ細やかな学級運営を図りました。また、教職員の校務負担軽減を図るために校務支援システムを導入しました。		132,112	123,223
(2) -2	学力充実推進事業	学力調査を行うことにより、児童の確かな学力の分析を行い、授業改善に取り組み、高い学力の維持を図ります。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	国が実施する学力調査の日程に合わせて坂井市学力テストを実施しました。テストの結果から研究や研修を実施し、授業改善に向けた取り組みが行われました。		2,139	2,013
(3) -1	学校運営支援事業	教職員の働き方改革、業務負担の軽減を図るため、今後も配置を希望する小中学校に学校運営支援員の配置を行います。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	教員の事務負担軽減のために学校運営支援員を配置し、児童生徒に配布するための教材のコピーや印刷等を行うことで、教員の多忙化解消が図られました。		8,761	7,767
(3) -2	教育相談事業	学校に行きたくても行けない児童・生徒に、個に応じた学習活動を進めながら心の安定を図り、学校復帰への援助を行うとともに、その保護者に対して子どもへの理解や対応に関する教育相談を行います。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	不登校の児童生徒に対し、適応指導教室の指導員、訪問員が学校と連携して保護者支援や児童生徒の個別指導を行いました。		12958	12468

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
(3) -3	スクールソーシャルワーカー活用事業	社会福祉に関する専門的な知識を生かして、学校だけでは解決ができない複雑化した事例に対して、関係機関と連携し、児童・生徒を取り巻く環境の改善に取り組みます。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	社会福祉に関する専門的な知識を生かして、学校だけでは解決ができない複雑化した事例に対して、関係機関と連携し、児童・生徒を取り巻く環境の改善に取り組みました。		7,663	6,882
				継続
				今後の方向性
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
(4) -1	小・中学校管理事業	小・中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内24小・中学校施設の適正な維持管理を行います。	教育総務課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	小中学校校舎・屋内運動場の修繕・工事などを適時実施しながら、適正な施設維持管理に努めました。また、教職員用タブレット端末やiPadを購入し、教育環境の充実を図りました。		607,551	559,056
				継続
				今後の方向性
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
(4) -2	小・中学校施設整備事業	児童・生徒の安全・安心を確保し、災害に備えるために、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校等について計画的に施設の大規模改造工事を行います。また、熱中症対策等を図りながら、質の高い学習を行えるように特別教室などへの空調設備の整備を行います。	教育総務課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	教育環境の整備・改善のため、小学校7校（春江・三国北・明草・磯部・雄島・長畝・加戸）の大規模な改修工事を行いました。令和4年度には中学校5校の特別教室（美術室・技術室・家庭科室等）への空調設備を新設しました。		1,245,760	1,224,254
				継続
				今後の方向性
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
(4) -3	省エネ対策事業	エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）に基づき特定事業省として、中長期計画書及び定期報告書の国への提出や説明会等への出席など、省エネに関する知識を習得し、意識を高めます。また、市内24小・中学校に設置したデマンド監視システムについて、各学校とデマンド値の設定協議を行い、省エネに対する理解と協力を得ながら教育環境を整えていきます。	教育総務課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	新型コロナウイルス感染症は5類に分類されましたが、コロナやインフルエンザの流行などもあり、引き続き換気を行いながらの授業を実施しました。児童・生徒、教職員の理解と協力のもと、省エネに努めました。		28	0
				継続
				今後の方向性
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
(5) -1	学校給食管理事業	給食センターと丸岡地区の自校式小学校との連携を図りながら、すべての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	昨年度に引き続き、学校給食費の保護者負担を半額にして、児童生徒の家庭の経済的な負担軽減を図りました。丸岡自校式や春江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、会計年度任用職員の確保等、安定した調理体制の確立を図りました。また、栄養士や給食調理員を対象とした研修を実施し、職場環境や衛生管理等の向上に努めました。		70,401	63,521
				継続
				今後の方向性
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
(5) -2	三国学校給食管理事業	全ての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	中学校1校、小学校9校、幼保園等4園の計14施設に安全で安心な学校給食を提供しています。地産地消に取り組み、地域の食材に関心を持ち感謝の心を育む食育にも力を入れました。		304,785	303,058
				継続
				今後の方向性
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
(5) -3	春江坂井学校給食センター管理事業	全ての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。	学校教育課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	中学校2校、小学校4校、幼保園2園の計8施設に安全で安心な学校給食を提供しています。地産地消に取り組み、地域の食材に関心を持ち感謝の心を育む食育にも力を入れました。		268,743	261,922
				継続
				今後の方向性

4.<基本計画に対する現状と課題および展開（R2～R5に実施した具体的な事業の実績を踏まえて）>

現状と課題 および展開	(1)【教育内容の充実】 （学校教育課） GIGAスクール構想による児童生徒一人一台整備されたタブレット端末や授業支援ソフトを活用した「主体的・対話的で深い学び」の実践を図りました。プログラミング学習では、市内全小中学校で教育用AIロボットを活用して学習を行い、学習成果の発表を教育用AIロボットを利用して行いました。 また、通信環境が整備されていない家庭へはWi-Fiルーターの貸与を行い、タブレット端末の持ち帰り学習を進めました。 （教育総務課） 国が進めたGIGAスクール構想により、令和2年度に児童生徒一人一台のタブレット端末（7,688台）を整備したほか、校内ネットワークやセンターサーバーを市内24小中学校で整備しました。また、インターネットの光回線化、アクセスポイントの増設による校内Wi-Fi環境の充実を図りました。今後は、保健室や特別教室等のWi-Fi環境整備、ウイルス対策・フィルタリングの見直しを行い、ICT環境の充実を図ります。 (2)【個に応じた学習支援の充実】 （学校教育課） 一人一台タブレットを活用したデジタルドリルを導入するとともに、中学校では、習熟度別学習を行う等、個別最適化された学びの推進を図りました。今後も新たなICT環境の活用、きめ細やかな指導体制の整備を進め、「個に応じた指導」を継続していくことが必要です。 (3)【就学指導体制・教育相談体制の充実】 （学校教育課） 不登校については、年々増加傾向にあるため、児童生徒の自己肯定感・自己有用感を高めることにより、不登校の未然防止につながるよう引き続き支援します。また、全ての児童生徒にとって「通うのが楽しい学校」となるよう、児童生徒が抱える様々な問題に迅速・適切に対応できるよう関係機関と連携を取りながら、就学指導体制・教育相談体制の充実に向けて支援を行います。 (4)【安全な教育環境の整備】 （教育総務課） 小学校の大規模な改修工事については、令和2年度以降、計画的に春江・三国北・明章・磯部・雄島・長畝・加戸小の計7校（2カ年工事の学校もあるため、KPI実績では10校）の校舎等改修を行いました。今後も、財源を確保しながら、計画的な改修を行います。 令和4年度には中学校5校の特別教室（美術室・技術室・家庭科室等）への空調設備を新設しました。今後は、小学校理科室や中学校屋内運動場などへの空調設備新設などを行い、安全で快適な教育環境整備を図ります。 (5)【安全で安心な学校給食の充実】 （学校教育課） すべての児童生徒に安全で安心なおいしい学校給食の提供に努めました。 昨年度に引き続き、学校給食費を半額とし、児童生徒の家庭の経済的な負担軽減を図りました。令和6年度も物価高騰による家庭の負担軽減を図るため学校給食費の半額を継続します。今後も食材料費の価格上昇を鑑みた学校給食費の改定や、保護者負担の軽減の内容についても継続して検討する必要があります。 丸岡自校式や春江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、会計年度任用職員の確保等、安定した調理体制の確立を図っているところです。これから、丸岡自校式の施設・設備の老朽化や児童生徒数の減少、正職調理員の減少を見据えた自校式給食および民間委託の在り方、給食センターの配送校の見直し、春江坂井学校給食センターの調理業務の民間委託について、検討を進めていきます。
----------------	---

令和5年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930人 (平成30年度)	224,555人	275,001人	319,788人	377,732人		450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682人 (平成30年度)	221,542人	342,963人	341,146人	385,753人		480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-2 社会教育・生涯教育の充実
(1)【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】 ○一人一人が自己の教養を深め自己実現が図れるよう、生涯学習機会の充実に取り組み、誰もが豊かな人生を送ることができる社会づくりを推進します。 ○地域やNPO法人、ボランティア団体、大学等と連携を図り、よりよい生活や地域を創る学習活動を推進します。 ○子どもと大人がふれあう講座の実施など世代を越えた交流を促進し、子どもたちの共生する力を育みます。 (2)【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】 ○コミュニティセンター内にカフェなど憩いのスペースを設置し、市民がふれあう地域コミュニティの場を提供します。 ○さまざまなアプローチによるまちづくりに繋がる講座等を実施し、学習と交流の場を提供します。 ○地域の特性を活かし、シビックプライドの醸成を図る催し等を実施します。 ○各々が描くまちづくりを実現するため、個人またはグループの活動を支援します。 (3)【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】 ○市内の豊かな自然に触れ合う体験活動等を提供し、健やかな心身を持つ青少年を育成します。 ○小学生が地域の施設に宿泊し通学する事業などを通じて、自立性・自主性・協調性を育みます。 ○学校と地域が連携強化し、見守り活動や青少年の非行防止活動、家庭教育支援の充実を図り、地域全体で子どもや家庭を見守り育てるための環境づくりを進めます。 (4)【図書館機能の充実】 ○教育・文化に関する領域に留まらず、市民の暮らしや社会に役立つ情報を提供します。 ○子どもたちの読書普及活動を推進します。 ○高齢者や障がいを持つ人が利用しやすい読書環境を整備します。 ○記念文庫内の貴重な資料の適正な保存管理に努めます。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	達成見込
コミュニティセンターで開催された講座数	332講座 (平成30年度)	288講座	290講座	365講座	365講座		350講座 (令和6年度)	目標値を達成見込み
コミュニティセンターで開催された講座の参加者数	24,262人 (平成30年度)	11,217人	12,235人	14,276人	13,678人		26,000人 (令和6年度)	目標値を達成見込み
市立図書館貸出冊数	860,183冊 (平成30年度)	622,630冊	817,456冊	749,522冊	788,839冊		880,000冊 (令和6年度)	目標値に達しない見込み
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに							

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1)-1	放課後子ども教室事業	地域の参画を得て、ノウハウを共有しながら、すべての児童に対して放課後等に多様な体験活動を提供し、居場所づくりと次代を担う人材育成を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	放課後や週末などの時間を利用し、様々な体験や活動の機会を提供するため、各コミュニティセンターで学習補助や、茶道・書道・太鼓など文化芸術の体験、世代間で交流できる門松づくりや地域についての学習など、地域のボランティアの協力を得ながら「放課後子ども教室」を実施しました。令和5年度には延べ5,981人が参加しました。また、子どもたちの安全・安心な居場所の確保ができました。		2,250	1,759	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(2)-1	コミュニティセンター運営事業	コミュニティセンター主催講座、共催講座など、地域の誇りやニーズに沿った講座を開催し、生涯学習の機会を提供することに加え、地域間の交流を促進します。また、コミュニティセンターに憩いのスペースを設置し、気軽に利用できる施設運営を行います。	市民協働課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	市内26箇所のコミュニティセンターにおいて、住民ニーズを踏まえた講座を実施しました。地元高校生と連携協力したスマホ教室の開催や、地区共催講座として、ウェルビーイングをテーマにしたパネルディスカッションを開催し、自分らしく暮らすことや地域における相互理解の中から得られる幸せについて学ぶ機会を創出しました。また、市民の身近な憩いの場として、コミュニティセンターカフェコーナーの充実を図り、気軽に立ち寄れる施設を目指しました。		8,291	7,067	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
	社会教育団体補助事業	社会教育団体の活動を支援し、その運営基盤の強化を図り、持続可能な社会教育の推進を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している	

(2)-2	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	地域社会の活力向上や社会教育活動を通して市民が交流を図ることができる団体の活動を支援しました。令和5年度は坂井市PTA連合会事業に250,000円、ガールスカウト育成団体運営に140,000円、ボーイスカウト育成団体運営に70,000円、坂井市女性の会運営に1,000,000円、かるた協会事業に312,000円の活動補助をしました。		1,840	1,772	継続
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度
	市民運動推進事業	地域での花壇づくり等市民の自主的かつ創意的に取り組む活動を支援し、住みよいふるさとづくりの推進を図ります。		生涯学習スポーツ課	貢献している
(2)-3	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	毎年実施している花壇コンクールに毎年度挑戦した団体は、広域部門、地区単位での応募があり、花壇づくりをはじめ、市民が自らの創意による活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいまちづくりを目指した意識向上と推進を図ることができました。なお令和5年度は広域部門で10団体、地区単位で44団体の応募がありました。		340	340	継続
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度
	子ども会育成事業	幼少年期から家庭や学校以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした活動体験を通して、子どもの健やかな成長と青少年のリーダーとなる人材育成を推進します。		生涯学習スポーツ課	貢献している
(2)-4	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	チャレンジランキング大会やディスクドッチ大会、壁新聞コンクールの事業を通じて、異なる学校・学年の児童や地域の人との交流を行うことができました。壁新聞コンクールでは令和3年度には20作品、令和4年度には24作品、令和5年度には26作品の応募があり、作成を通じて地域について学ぶ機会を創出することができました。ジュニアリーダースクラブでは地区の子ども会や教育委員会主催事業のわんぱく少年団や坂井延岡交流事業等にて、積極的に企画・運営を行い、リーダーとして活動することができました。		2,145	2,069	継続
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度
	成人式事業	市として新成人の門出を祝福し、成人としての自覚と心構えを促すとともに、ふるさと坂井市への想いを高め、地元での活躍や地域貢献への醸成を図ります。		生涯学習スポーツ課	貢献している
(2)-5	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	令和2年度は大雪の影響により開催を1月から3月へ延期し、令和3年度以降は3月に開催しました。令和2～4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため2部制で行いましたが、令和5年度は1部制で行いました。また、成人年齢引き下げ後の令和4年度以降は成人式から「はたちのつどい」に名称を変更して開催し、楽しんでもらえるような内容を実行委員が自ら企画、運営することで、参加者が満足できる催しとなりました。		1,469	1,094	継続
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度
	わんぱく少年団事業	坂井市の自然を体験・体感して楽しめる魅力あるプログラム(キャンプや磯観察等)を設定し、元気で心豊かな少年を育成します。		生涯学習スポーツ課	貢献している
(3)-1	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	坂井市の自然を季節ごとに体験できるトレッキングや工作など、子どもたちの心が豊かになる体験の機会を提供しました。また、ジュニアリーダースクラブにスタッフとして加わってもらうことで、青少年のリーダー育成を推進することができました。令和2年度は市内小学校5・6年生の団員32人で全6回、令和3年度は31人で全7回、令和4年度は30人で全9回、令和5年度は22人で全6回の活動を行いました。今後は「わんぱく王国」事業に一本化します。わんぱく少年団事業の発展形として令和4年度に開始した「わんぱく王国」事業は令和5年度から期間を半年間から通年開催としました。令和4年度は28回のメニューに対して、237名の申し込みと延べ人数380人の参加、令和5年度は50回のメニューに対して、293名の申し込みと延べ人数561人の参加がありました。また、8回以上達成した児童に「わんぱく王」の称号を授与しており、令和4年度は2名、令和5年度は15名の児童に授与しました。		5,556	4,271	縮小
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度
	坂井・延岡ジュニア交流事業（体験型交流による子どもの育成）	宮崎県延岡市との姉妹都市交流事業の一環として、PTAの関係者並びに地域のボランティア等が両市の児童と体験学習を通じて、地域で子どもたちを育てる意識の高揚を図る。		生涯学習スポーツ課	貢献している
(3)-2	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	令和5年度には、坂井市の5,6年生21人の児童が参加し、延岡市の13人の児童と坂井市の歴史文化や延岡市とのつながりを学ぶことを通じて交流を深めました。また、交流期間中は両市児童がグループで体験活動を行うため、坂井市PTA連合会から3名、延岡市PTA連絡協議会から2名の協力を得て、児童の安全確保に努めていただきました。		744	606	継続
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度
	合宿通学事業	家庭を離れ合宿生活を体験することで、日常における家族への感謝の気持ちや自主性、協調性を育てます。また、地域の方々の協力のもと、子どもと地域の結びつきを図ります。		生涯学習スポーツ課	貢献している
(3)-3	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	防災合宿として開催し、小学校の体育館を会場として実際に避難所で使用する避難用品を使用して宿泊したり、食事を作る避難所体験を行いました。令和2年度は市内小学校4校で計86人、令和3年度は4校で計94人、令和4年度は4校で計116人、令和5年度は4校で計87人の5・6年生が参加しました。また、ハザードマップを利用するなど、参加者自身に災害について考える機会を提供しました。合宿期間中は地域団体の協力を得るなど、子どもたちが地域の大人と触れ合う機会も提供しました。		880	635	改善
No.	事業名	事業内容		所管課	施策貢献度
	心の家庭教育支援事業	家庭教育支援員による子どもとの会話や保護者からの相談業務を通じて、子育てに必要な情報や手法を提供するとともに、学校等と連携し、さまざまな角度から家庭教育の支援に取り組みます。		生涯学習スポーツ課	貢献している
(3)-4	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	小学校を中心に保護者が集まる機会を利用して家庭教育についての学習機会を提供しました。				

	令和2年度は4校、令和3年度は5校、令和4年度は3校、令和5年度は1校で子育て講演会を行いました。 家庭教育支援チームの活動では、令和2・3年度は36人、令和4年度は34人、令和5年度は29人の支援員が在籍し、市内小学校で月2回程度の子ども相談室を開催して子どもたちに寄り添いました。また、小学校の保護者会や就学時健康診断時などを活用した保護者相談会を開催し、子育てに関する保護者の悩みを聞くなどのサポートを行いました。	1,587	1,203	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
	青少年育成坂井市民会議事業	地域における、見守り活動や挨拶運動など、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに取り組み、次代を担う青少年の健全な育成を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している
(3)-5	主な取り組み実績	予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	市内23支部において、登下校時の見守り活動やあいさつ運動を毎日実施することで、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに取り組みました。年末には坂井市民運動推進協議会と合同主催でふるさとづくり大会を実施し、青少年の健全育成のための優れた活動を展開している人や団体を市民会議会長表彰として表彰の場を設けました。令和2年度は個人8名・3団体、令和3年度は個人19名・1団体、令和4年度は個人9名・2団体、令和5年度は個人13名、1団体を表彰しました。	2,126	2,103	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
	子どもの読書活動推進事業	お話し会や、ブックスタート事業、講演会などを通して、子どもが本と出会う機会をつくります。また、読み聞かせボランティアの育成や支援に努めます。	図書館	貢献している
(4)-1	主な取り組み実績	予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	おはなし会やブックスタート、学校配本等を継続する他、令和5年度より市内小学校を訪問しブックトークを行ったり、学校や家庭に読書の素晴らしさを広める「読書リーダー」の育成を目的としたジュニア司書養成講座を開催しました。また人気絵本作家の原画展を開催し、子どもの読書普及に努めました。	2,296	1,959	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
	図書館サービス事業	地域における生涯学習の場として、高齢者や障がいを持つ人も図書館を円滑に利用できるようきめ細やかな対応に努めます。	図書館	ある程度貢献している
(4)-2	主な取り組み実績	予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	各館で暮らしや趣味等、役立つ資料や情報を集める他、市内4館のネットワークを活かした配本や県内外の図書館と相互貸借を行いました。	141,748	138,426	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
	記念文庫運営事業	偲ぶつどいや講演会などを開催するとともに、記念文庫内資料の適切な保存管理を行い、郷土にゆかりのある文学や歴史を継承していきます。	図書館	ある程度貢献している
(4)-3	主な取り組み実績	予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	中野文庫、小葉田文庫の保存整理を行いました。また中野重治を偲ぶつどいの「くちなし忌」と小葉田淳記念講演会を開催し、顕彰に努めました。	2,557	2,516	継続

4.<基本計画に対する現状と課題および展開（R2～R5に実施した具体的な事業の実績を踏まえて）>

現状と課題 および展開	(1)【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】 （生涯学習スポーツ課） 合宿通学事業は令和2年度から避難所生活を体験して防災の知識と経験を得る防災合宿を実施し、令和2年度から令和5年度まで市内小学校16校で5・6年生のべ383人が参加しました。今後は、地域の人たちと一緒に実施し、地元まちづくり協議会などが独自で実施できるように推進していきたいです。 子ども会育成事業は、活動を通して異なる学校や他学年、そして地域の大人と関わる機会を提供しています。今後は、より一層の市内の子ども同士の交流を図ることと各地区の単位子ども会の活発を狙った活動を行っていきます。また、ジュニアリーダーズクラブでは地域の子ども会活動や他事業の体験活動のお手伝いを行うことでリーダーとなる人材の育成を図ります。 (2)【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】 （生涯学習スポーツ課） 放課後子ども教室は市内25のコミセンで実施しており、地域住民の方々の協力を得ながら放課後や休日の居場所を作っています。しかし、内容の充実度に教室ごとの差があります。地域性を鑑みたくえて、内容を充実させていきたいです。 （市民協働課） コロナ禍収束に伴い、コミュニティセンター利用者数が増えています。一方、価値観やライフスタイルの変化に伴い、住民ニーズにあった講座の企画運営が求められています。生涯学習の充実や、住民同士の交流の機会創出はもちろん、あらゆる世代の地域住民が活躍できる身近な場（拠点）となる環境づくりを一層推進していきます。 (3)【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】 （生涯学習スポーツ課） 見守り活動では見守り隊員の高齢化が顕著であることから、令和2年度より誰でも気軽にできる「いきいき見守り隊」の制度を設けており、今年度は5名の新規申請がありました。しかし、全体の隊員数は減少しているため、若い人にも入っていただけるようなアイデアを捻出して実施していきたいです。 (4)【図書館機能の充実】 （図書館） 今後来館者数480,000人、貸出冊数880,000冊を目指し、子どもの読書普及やきめ細やかで円滑なサービスに取組んで参ります。 しかし目標に達しない見込として、コロナ感染予防による一時的な休館や、その後の制限による影響、また人口現象、図書館利用者の高齢化による来館者減少等を理由に、現目標値が達成できないと見込まれています。 R5より実施している市内小学校に訪問し行うブックトークや、ジュニア司書養成講座を定着化し、新たな図書館利用者の育成や子どもの読書活動推進事業をより進めるよう努めています。
----------------	--

令和5年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人	275,001 人	319,788 人	377,732 人		450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	221,542 人	342,963 人	341,146 人	385,753 人		480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-3 歴史・文化・芸術の伝承と振興								
(1)【文化財の保存と活用】 ○地域にある文化財の調査や掘り起こしを行い、保存活動を進めるとともに、文化財を活用した地域活性化を図るため「坂井市文化財保存活用地域計画」を策定し、まちづくりや観光分野とも連携した活用に取り組みます。 ○三国祭や舟寄踊、日向神楽などの地域に残る無形文化財を後世に伝承するため、活動の記録・保存とともに、文化継承の担い手の確保や育成を支援します。 ○丸岡城の学術調査の成果をもとに、市民と文化財としての価値を共有するとともに、丸岡城天守や周辺部「城郭・丸岡城」の文化財としての価値の確立と観光資源としての評価の向上に取り組みます。 ○六呂瀬山古墳群をはじめ、埋蔵文化財の保存・出土品等の保存整理と公開活用に必要な施設整備等に取り組みます。 ○みくに龍翔館については、歴史文化遺産に関する資料を収集・保存・調査研究・展示活用する博物館機能を強化するとともに、観光と連携した情報発信機能を高め、交流人口の拡大を図る拠点となるよう取り組みます。 (2)【文化芸術活動の振興】 ○坂井市文化協会をはじめとする文化団体の活動や後継者育成に対する支援に努めます。 ○文化ホールを市民の文化活動の拠点として広く活用してもらうため、各施設の機能や特性を活かし利用促進を図っていきます。 ○一筆啓上日本一短手紙の館は、「一筆啓上賞」を核に地域に根ざした手紙文化を広く発信していくとともに、手紙に触れる機会を通して郷土に対する誇りや愛着を深めてもらえるよう、学校や地域との連携を図っていきます。 ○優れた芸術作品に触れる機会を創出し、市民の文化・芸術に関する感性と創作意欲の向上を図ります。								
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	達成見込
丸岡城入場者数	128,158 人 (平成30年度)	69,616人	65,753人	108,875 人	116,386 人		150,000人 (令和6年度)	目標値を達成見込み
みくに龍翔館来館者数 (館外活動参加者等を含む)	11,166人 (平成30年度)	5,516人	—	—	17,979人		30,000人 (令和6年度)	目標値に達しない見込み
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに			11.住み続けられるまちづくりを				

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -1	地域計画事業	文化財の保存・活用に関する分野横断的なマスタープラン兼アクションプランである文化財保存活用地域計画をもとに歴史文化を活かしたまちづくりを推進します。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	令和元年度から3年間をかけて作成した地域計画が令和4年の7月に国の認定を受けました。計画に定める取り組みを効果的に進めるための推進協議会を設置し、5月には協議会を開催しました。また、文化財の管理を効率的に行うため、総合型GISにおける文化財の管理用データベースを整備しました。		1,665	1,458	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -2	文化財保存管理事業	文化財の保存管理に必要な措置を講じていくとともに、市民への公開や活用を通して文化財保護意識の啓発を行います。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	市内にある国・県・市の指定を受けた文化財の保存管理に対する補助金、奨励金の交付や勾玉や銅鐸作成の体験学習を開催しました。また、市内の数ヶ所の施設に分け保管していた遺物等について、施設の老朽化が進んでいるため、文化財保管施設（旧安島幼保園）に移動し適正な保存管理に努めました。		19,910	18,319	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -3	埋蔵文化財発掘調査事業	市内に分布する埋蔵文化財包蔵地に支障をきたさないよう、工事施工業者への周知に心がけるとともに、適切な指導・助言に努めていきます。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	埋蔵文化財発掘届出関係事務並びに届出に伴う試掘調査を行いました。六呂瀬山古墳群については、昭和、平成に実施した発掘調査と平成30年度から令和4年度まで実施した六呂瀬山古墳内の発掘調査の結果をもとに、令和5年度、6年度の2カ年で総括的な報告書を作成しています。また、六呂瀬山古墳群調査整備委員会については、例年2回ずつ開催しています。		5,192	4,738	継続

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -4	丸岡城国宝化推進事業	調査成果の周知広報を通して、丸岡城の文化財的価値の向上を図ります。 また、引き続き丸岡城の学術的調査を継続するとともに、調査で収集した資料を広く公開するよう、報告書やパンフレット等を作成して教育普及に努めます。	文化課 (丸岡城国宝化推進室)	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	丸岡城調査研究アドバイザーの協力のもと、令和5年3月に購入した「丸岡城絵図(志州鳥羽城図)」及び「越前国丸岡城図」について調査を進め、丸岡城絵図調査報告を開催しました。 また、江戸時代の丸岡城下町を「見える化」「デジタル化」することを目的に、江戸時代の古絵図や近代の測量成果を用いて、丸岡城下町再生古地図を作成し、使用方法について市民向けの説明会を開催しました。作成以降、調査研究、教育、普及啓発、観光などで活用を図っています。		12,211	11,165	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -5	坂井市龍翔博物館管理運営事業	坂井市の歴史、自然及び文化についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管、展示し、これらの資料に関する調査及び活用を図ります。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	令和2年11月から約2年半、長期休館し、施設・展示の全面改修を行いました。令和5年6月3日、館名も「みくに龍翔館」から「龍翔博物館」に改称し、リニューアルオープンいたしました。展示内容を一新し、トリック手法によるユニークな見せ方をはじめ新しい展示方法を多彩に取り入れ、市全域を対象にした歴史や文化を分かりやすく紹介しています。		54,976	47,365	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -6	坂井市龍翔博物館資料収集・保存事業	坂井市の豊かな歴史文化遺産に関する資料を収集し、その散逸を防ぎ、未来への遺産として後世に引き継ぎます。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	令和2年冬から令和4年にかけて収蔵資料を館外へ移設し、収蔵庫の改修工事を行いました。また、船筆笥・工芸品の購入、三国祭山車人形・船絵馬の修繕など、資料の収集や整備を行い、新しい常設展示に活用しました。		2,596	2,184	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -7	坂井市龍翔博物館調査研究事業	収蔵資料および展示資料等の調査研究を進め、坂井市の歴史や文化に関する研究拠点としていきます。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	市の歴史・文化遺産に関する資料の調査を行うとともに、専門家の指導を受け、市全域を対象とする新しい常設展示に反映しました。リニューアルオープン後も調査研究を継続し、展示や教育普及に役立てるよう努めています。		817	510	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -8	坂井市龍翔博物館展示および教育普及事業	博物館施設として基盤となる資料収集、調査研究の成果を還元・反映し、坂井市の風土、歴史・文化をわかりやすく魅力的に伝え、市民や来館者が「楽しく学べる場」を目指します。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	令和3年度・4年度の2か年で展示改修工事を行いました。常設展示の内容を一新し、トリック手法によるユニークな見せ方をはじめ新しい展示方法を多彩に取り入れ、市全域を対象にした歴史や文化を分かりやすく紹介しています。リニューアルオープン後も、特別展や企画展で、調査研究の成果を反映し、豊富な館蔵のコレクションを披露しています。 また、サポーターズクラブ「りゅうちい's」を結成し、教育普及事業として各種イベント・ワークショップを開催して、子どもから大人までが、楽しみながら坂井市の歴史や文化に触れる機会を増やしました。		9,921	9,644	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -9	坂井市龍翔博物館観光連携事業	館に多く収蔵される日本遺産「三国湊」の構成文化財や、東尋坊などの観光資源に恵まれた立地条件を活かし、来館者の誘致拡大を図るとともに、丸岡城をはじめとした市内観光地へと誘導していきます。また、観光と連携した情報発信機能を高め、交流人口の拡大を図る拠点となるよう取り組	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	館をリニューアルし、観光情報コーナーやミュージアムショップを新設しました。ショップでは館オリジナルグッズを開発・販売しています。また、観光情報コーナーには、約80種類の観光カードを設置し、市内観光地への誘導を図りました。		3,190	3,029	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -10	みくに龍翔館改修整備事業 ※ ～R4実施事業	多様性と共通性をもった各地域からなる坂井市全体の歴史文化のハブとなる博物館として整備をすすめます。また、地域に点在する資源を集積・保存・活用し、魅力的な展示や事業を展開、来館者や市民の誰もが坂井市の歴史や風土・文化をあらためて認識する機会をつくるとともに、シビックプライドの醸成にも努めます。	文化課	貢献している	
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(2) -1	文化活動支援事業	日頃の活動成果を発表する文化祭の開催を支援し、文化活動に対する市民の積極的な参加を推進します。また、文化ホールで開催する様々な舞台芸術公演を支援し、文化に触れる機会を提供します。	文化課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算(千円)	決算(千円)	今後の方向性
	文化祭は、コロナ禍での開催もありましたが毎年、市内4会場で開催し、来場者数合計(R2～R5)は約38,350人でした。公演事業では、様々なジャンルのアーティストの公演や地元出身の音楽家によるコンクール、演劇教室による中高生演劇ワークショップ等に取り組みしました。文化芸術体験事業では、市内小中学校においてプロの音楽家によるスクールコンサートを開催しました。		20,200	20,113	継続

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度
(2) -2	一筆啓上手紙の館管理運営事業	一筆啓上賞を市内外に発信する施設として、手紙にまつわる様々な企画に組み入れます。また、丸岡城と一体化した来館者の取り込みを図るとともに、市のPRにつなげていきます。	文化課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	丸岡文化財団に手紙の館の事業運営を委託し、一筆啓上賞や手紙をテーマにした企画展等を実施しました。一筆啓上賞はR5年度で第31回目を迎え、これまでに160万通を超える応募がありました。また手紙の館の来館者数はコロナ禍の影響もありましたが、年間の来館者数合計（R2～R5）は約110,000人でした。		14,183	12,822
				今後の方向性
(2) -3	ONOメモリアル管理運営事業	地隔年開催の高校生現代アートビエンナーレをはじめ、現代美術等の企画・育成事業を実施します。	文化課	貢献している
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）
	「こどもが描く“ふるさと坂井” 絵画展」を継続して実施し、子どもたちのふるさとを愛する心を育み、絵画・芸術に親しむ機会を提供しました。また、坂井市出身のアートディレクター戸田正寿氏による「エッシャー←手紙→戸田正寿展」をはじめ各種企画展やワークショップを開催しました。高校生現代アートビエンナーレは、新型コロナウイルス感染症や龍翔博物館リニューアル事業の時期と重なったことから、令和3年度と5年度の開催を見送りました。次回は令和7年度に実施を計画しています。		9,191	7,764
				今後の方向性

4.<基本計画に対する現状と課題および展開（R2～R5に実施した具体的な事業の実績を踏まえて）>

現状と課題 および展開	(1)【文化財の保存と活用】 （文化課） 「みくに龍翔館」は、令和3年度・4年度で施設・展示の全面改修を行い、令和5年6月、名前も新たに「龍翔博物館」としてリニューアルオープンしました。坂井市の歴史・文化の魅力発信および館の利用促進のため、特別展・企画展や、月数回のイベント・ワークショップの開催、その他ナイトミュージアムや観覧ゲームの実施など、多くの展示事業や教育普及事業を企画いたしました。北陸新幹線が福井まで延伸したことから、今後はさらに観光とも連携しながら、事業の充実を図ってまいります。
	(2)【文化芸術活動の振興】 （文化課） 若い世代が文化芸術に興味を持ち積極的に参加できるよう、中高生対象の継続的な演劇ワークショップや発表会事業を実施しました。また、子どもたちが文化芸術や伝統文化に触れる機会を確保しました。今後も後継者育成や専門人材の確保につながるよう取り組んでまいります。

令和5年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930人 (平成30年度)	224,555人	275,001人	319,788人	377,732人		450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682人 (平成30年度)	221,542人	342,963人	341,146人	385,753人		480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-4 生涯スポーツの振興								
(1)【スポーツ・レクリエーションの振興推進】 ○市民一人ひとりが精神的な豊かさや充実を感じられ、生きがいづくりや体力の向上、健康の保持・増進により、生涯にわたって生き生きとした生活を送ることができるよう、スポーツやレクリエーションなどの生涯スポーツ活動を支援・推進します。 (2)【トップアスリートの育成】 ○競技スポーツの向上には、一貫性のある指導体制による選手育成システムの構築が必要であり、トップレベルの競技者や指導者が活動できる環境の整備を推進します。 ○競技スポーツの振興に寄与する団体を支援し、小学生から高齢者まで競技者の段階的な育成を図ります。 (3)【体育施設の効率的な管理運営】 ○市内全スポーツ施設の利用状況や管理経費等を総合的に検証したマネジメント計画を策定し、当該計画に基づき適正かつ効率的な施設整備並びに維持管理を行います。 (4)【スポーツツーリズムの促進】 ○福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会を開催した実績とレガシー（遺産）を活かし、各競技の全国大会や国際大会の開催、トップアスリートの合宿誘致などスポーツツーリズムによる国内外との交流を深めます。								
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	達成見込
坂井市民スポーツ祭等参加者延べ人数	9,397人 (平成30年度)	1,166人	497人	4,257人	7,128人		11,500人 (令和6年度)	目標値に達しない見込み
スポーツ推進委員主幹教室・大会参加者数	93人 (平成30年度)	0人	76人	0人	60人		150人 (令和6年度)	目標値に達しない見込み
関連性の高いSDGsの17目標	3.すべての人に健康と福祉を			4.質の高い教育をみんなに				

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -1	スポーツ大会運営事業	古城マラソンや市民スポーツ祭などスポーツイベントの開催のほか、各種スポーツ大会の運営に対して助成を行い、スポーツの振興を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	新型コロナウイルス感染症により令和2年度より中止または規模縮小による開催となりましたが、令和5年度より全面的に再開しました。コロナ前の状況には戻りきれないものの、マラソンを始め市民がスポーツに親しむ環境を作りスポーツ振興に寄与することができました。令和5年度は、古城マラソンでは、2,083人のランナーが参加し、市民スポーツ祭はスポーツ推進委員や丸岡高校等による体験ブースを設け、3,245人が参加しました。福井県で開催された日本スポーツマスターズにおいて、サッカー協に出場した選手や観客に地元名産品のふるまいや観光のPRを行いました。また、各種スポーツ大会の運営に対し、坂井市古城カップ330,000円、坂井・奥越地区高等学校野球連盟事業100,000円の助成を行いました。		18,473	18,245	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(1) -2	スポーツ推進委員運営事業	スポーツ推進委員が行うスポーツの実技指導やニュースポーツ教室などの開催を通して生涯スポーツの推進のもと、市民の健康維持と交流を図ります。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	生涯スポーツの推進を目標に、子ども会や地区事業などにスポーツ推進委員を派遣し、年齢・性別にとらわれず親しむことができるニュースポーツや体操の指導を行い、スポーツ振興や健康増進に寄与することができました。令和5年度においては、子ども会や老人サロン等から23件の派遣依頼があり、子どもから高齢者までの幅広い年齢層の市民へニュースポーツや体操指導を行うことができました。ディスクドッチの審判・指導を行うことへ、フライングディスク競技の振興への助力を行いました。また、既存のストレッチを中心としたマリン体操のほかリズム良く行うことができるしあわせの花体操を完成させました。		2,550	2,145	継続

No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(2) -1	スポーツ振興事業	市民に地元の誇りとスポーツ意欲の向上をもたらすトップアスリートの輩出やトップチームを育成するための支援を行います。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	全国大会出場者やチームに対し激励金の支給を行うほか、地域密着型のトップスポーツチームの支援を行うことで、競技力の向上を図り、地域に大きな活力を生み出すことができました。令和5年度の実績として、地域の全国スポーツ大会等出場選手430人に対し助成を行いました。地域密着型トップスポーツチーム支援事業として、坂井フェニックスサッカークラブと福井丸岡RUCKに対し、それぞれ1,000,000円の助成を行いました。		101,040	98,236	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3) -1	体育施設維持管理事業	体育施設に関するマネジメント計画等に基づき、効率的な管理運営を行います。また、ネーミングライツ等の費用負担を軽減する方策を検討します。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	令和2年度に策定した「坂井市スポーツ施設マネジメント計画」に基づきスポーツ施設の効率的な管理運営と、維持改修工事を行いました。 【令和5年度主要改修工事 丸岡運動公園多目的屋内スポーツセンター人工芝張替工事：13,640千円、丸岡スポーツランドスケートパーク整備工事：32,010千円】		292,553	289,584	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3) -2	体育施設整備事業	施設の利用状況や利用者のニーズを把握し、計画的に改修や修繕など整備工事を行い、安全で快適なスポーツ環境づくりを進めます。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	実績なし。		0	0	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3) -3	ワールドマスターズゲームズ運営事業	誘客力や国際力のある各種全国大会や世界大会を積極的に誘致・開催する「坂井市版スポーツツーリズム」を促進し、スポーツによるまちづくりを目指します。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	令和5年5月12日から19日にかけて、ディスクゴルフの世界大会「ワールドマスターズゲームズ2027関西ジャパンオープンディスクゴルフ2023」を開催し、国内外から183人の選手及びその同伴者が坂井市に訪れました。		15,919	15,919	継続
No.	事業名	事業内容	所管課	施策貢献度	
(3) -4	保健体育事務事業	スポーツ振興の充実を図るための事業を行います。また、各種協議会等に対し負担金を助成します。	生涯学習スポーツ課	貢献している	
	主な取り組み実績		予算（千円）	決算（千円）	今後の方向性
	「東京2020オリンピック聖火リレー」を、多くの市民ボランティアの協力により開催しました。「同パラリンピック採火・集火式」を福井県立嶺北特別支援学校の協力により開催しました。「令和3年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技会」を坂井市内3会場、福井市内1会場にて開催しました。コロナ禍であるため無観客での開催となりましたが、競技協会等と連携し円滑に大会を開催することができました。		0	0	継続

4.<基本計画に対する現状と課題および展開（R2～R5に実施した具体的な事業の実績を踏まえて）>

現状と課題 および展開	(1)【スポーツ・レクリエーションの振興推進】 （生涯学習スポーツ課） スポーツ推進委員運営事業では、地域からの派遣依頼や自主企画、古城マラソン等の市主催行事への協力を通して、スポーツの振興と市民の健康増進に努めています。派遣依頼は23件あり、主に老人クラブ等の体操指導やニュースポーツ体験指導、子ども会ディスクドッチ大会の審判がありました。自主企画よりも派遣依頼に力を入れ、広報等にて周知を積極的に行っています。 (2)【トップアスリートの育成】 （生涯学習スポーツ課） 引き続き、競技スポーツの振興に寄与する団体を支援していきます。 (3)【体育施設の効率的な管理運営】 （生涯学習スポーツ課） 費用面等も考慮しながら、計画的に改修・再整備またその維持管理を行っていくことで、より多くの人がスポーツに触れ合う機会を伸ばしていきます。 (4)【スポーツツーリズムの促進】 （生涯学習スポーツ課） ワールドマスターズゲームズの開催を契機に、「スポーツツーリズム」による交流人口の拡大を進めていく必要があります。 また、坂井市には、様々なスポーツ施設の他、多くの宿泊施設があり「スポーツ合宿」の誘致に適しているため、アクセスが容易な関西や中京圏からの誘致を積極的に進める必要があります。
----------------	--